

# 中田商事 新「企業理念」を公表 社会的責任さらに明確化

【三重】中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）は2日、内容を刷新した「企業理念」を発表した。創業以来の「経営理念」に加えて、社会的責任などの「企業姿勢」をより具体化・明確化し、持続的な企業発展を目指す。

同社の新しい「企業理念」は①事業の目的と方向を定めた「経営理念」②社会への約束として実行する「企業姿勢」③日々の行動基準となる「社員行動指針」の3本柱で成り立っている。中田社長は「従来は『経営理念』の次に『事業計画』があった。事業計画とは数字つまり力ネの部分を含むもの。どうしても力ネが先

になりがちだった。わが社は何のために存在するのか考え、優先順位をヒト、モノ、力ネに再整理した」と説明する。

新「企業理念」では、「常



中田社長

に社会に必要なとされ、顧客に感動を与えられるようなサービスを提供できる企業であり続ける」とした「経営理念」の次に、新規策定した「企業姿勢」を置いた。

「企業姿勢」は「顧客の満足の追求」「法の順守と公正な行動」「地域社会から信頼される企業」「環境保護の推進」などの10項目で構成されている。「顧客の満足の追求」で

は、「常にまごころを込めた良質のサービスを提供する」とした上で、「革新に挑戦し、生活利便の向上に役立つ新しいサービスを開発する」と、チャレンジする姿勢を強調している。

「『企業姿勢』で社員の行動基準がより明確になり、全てがつながる。掛けるべきコストがはつきりすれば、数字部分も現実味を帯びてくる」と中田氏。

「今までハード面の土台構築に注力してきたが、『経営理念』でソフト面の土台が完成に近づいた。将来的にも事業継承しやすい環境が整った」と胸を張る。

（星野 誠）